



サプライヤ適合宣言

この機器は、FCC 規定の Part 15 に基づくクラス A デジタルデバイスの制限に準拠していることがテストによって確認済みです。これらの制限は、商業環境で装置を使用した場合のあらゆる干渉を防止する適切な保護を規定しています。この装置は、無線周波エネルギーを生成、使用、または放射する可能性があり、この装置のマニュアルに記載された指示に従って設置および使用しなかった場合、ラジオおよびテレビの受信障害が起きることがあります。

- 本機器から有害な干渉が発生することはありません。
- 本機器は、予想外の動作を引き起こす可能性のある干渉も含め、すべての干渉に対応できる必要があります。

住宅地でこの装置を使用すると、干渉を引き起こす可能性があります。その場合には、ユーザー側の負担で干渉防止措置を講じる必要があります。

無線コンプライアンス

このシステムは、ライセンス対象の無線周波数とライセンス免除の無線周波数の両方を使用します。無線は、次の規制に従って評価されます。

Wi-Fi 無線は、連邦規則集第 47 編第 15.247 項および第 15.407 項に準拠して評価されます。

5150 ~ 5250 MHz 帯域の屋外で動作する第 15 部「無線システム」は、FCC 第 15.407 項の規則で規定されているアンテナ設置要件に準拠する必要があります。

LTE 無線は、連邦規則集第 47 編第 24 部および第 27 部に準拠して評価されます。

LTE 無線は、ライセンス対象の周波数帯域で動作し、運用には無線ライセンスが必要です。ライセンス対象のサービスプロバイダーまたはワイヤレスキャリアの管理下で運用する必要があります。

ユーザーまたはインストーラによる変更

シスコの許可なしに装置を改造した場合、装置がクラス A のデジタル装置に対する FCC 要件に準拠しなくなることがあります。その場合、装置を使用するユーザーの権利が FCC 規制により制限されることがあり、ラジオまたはテレビの通信に対するいかなる干渉もユーザー側の負担で矯正するように求められることがあります。

装置に対し、準拠に責任を負う関係者によって明示的に承認されていない変更または修正を加えると、ユーザーがこの装置を使用する権利は無効になります。

FCC RF 被曝に関する適合宣言

この製品は、無線周波数電磁場における人体の被曝に関する FCC ガイドライン（『無線周波数電磁場に対する人体暴露の FCC ガイドラインとのコンプライアンスの評価』）で定義された、無線周波デバイスによる RF 被曝の影響に関する CFR 47 第 1.1307 項の要件を満たすことが判明しています。

適合性を維持するために、アンテナは人体から 20 cm（8.7 インチ）以上の距離をあけて設置する必要があります。

カナダ

このクラス [*] デジタル機器は、カナダの ICES-003 に準拠しています。

Cet appareil numérique de la classe [*] est conforme à la norme NMB-003 du Canada

無線（Wi-Fi）

本製品は、カナダ産業省規則の RSS-247 に適合しています。動作は次の 2 つの条件を前提としています。

- 本機器から有害な干渉が発生することはありません。
- このデバイスは、予想外の動作を引き起こす可能性のある干渉も含め、すべての干渉に対応できる必要があります。

Ce dispositif est conforme à la norme RSS-247 d'Industrie Canada applicable aux appareils radio exempts de licence. Son fonctionnement est sujet aux deux conditions suivantes:

- le dispositif ne doit pas produire de brouillage préjudiciable
- ce dispositif doit accepter tout brouillage reçu, y compris un brouillage susceptible de provoquer un fonctionnement indésirable

5150 ~ 5250 MHz の帯域で動作するデバイスは、共通チャネルのモバイル衛星システムへの有害な電波干渉が発生する可能性を減らすため、屋内でのみ使用するようしてください。

取り外し可能なアンテナを備えたデバイスの場合、5250 ~ 5350 MHz および 5470 ~ 5725 MHz の帯域のデバイスに許可される最大アンテナゲインは、機器が引き続き e.i.r.p. 制限に準拠するレベルでなければなりません。

取り外し可能なアンテナを備えたデバイスの場合、5725 ~ 5850 MHz の帯域のデバイスに許可される最大アンテナゲインは、機器が引き続き適切な e.i.r.p. 制限に準拠するレベルでなければなりません。

屋外で動作可能なシステム、または屋外に取り付けられるアンテナ（該当する場合、アンテナタイプ、アンテナモデル、およびワーストケースの傾斜角）は、e.i.r.p. の基準に準拠するために必要です。そのため、第 6.2.2.3 項に記載されている仰角マスクの要件が明確に示されている必要があります。

無線（Wi-Fi）

本製品は、カナダ産業省規則の RSS に適合しています。

放射線暴露に関する宣言

本機器は、制御されていない環境に対して規定された IC 被曝制限に準拠しています。本機器は、放射物と人体の間を最低でも 20 cm (7.87 インチ) 離れた状態で設置および使用してください。



(注) C1109-4PLTE2P = 27 cm

Déclaration D'exposition Aux Radiations

Cet équipement est conforme aux limites d'exposition aux rayonnements IC établies pour un environnement non contrôlé. Cet équipement doit être installé et utilisé avec un minimum de 20 cm (7.87 in.) de distance entre la source de rayonnement et votre corps.



(注) C1109-4PLTE2P = 27 cm

タイ

เครื่องโทรคมนาคมและอุปกรณ์นี้มีความสอดคล้องตามมาตรฐานหรือข้อกำหนดทางเทคนิค ของ กสทช

この電気通信機器は、NTC/NBTC の技術要件に準拠しています (オプション)。

無線通信機器の電磁界強度は、米国電気通信委員会が発表した「無線通信機器使用時の人間の健康に関する安全基準」に準拠しています。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。